

プレミアムフライデー による私事活動の有無の変化分析

The Change Analysis Of Private Activities
By Introduction Of Premium Friday



チームP 愛媛大学



背景

Background

- ◆ 今年の2月から消費を促すキャンペーンとしてプレミアムフライデーが実施されている

*プレミアムフライデー:

月末金曜日の仕事を午後3時に終えることで消費活動をしてもらう

✓ 「導入している」企業はわずか10%

- ・プレミアムフライデーは私事活動に影響を与えるのか？
- ・金曜日以外の他の曜日でもいいのでは？



分析のフロー

Flow

ステップ1

平日・土日の私事活動についてのモデル構築

ステップ2

プレミアムフライデーの効果分析

ステップ3

違う曜日でも検証



分析について *Analysis*

◆ データについて

- ✓ 横浜市のPPデータ
⇒ 月曜日を基準とした, 1週間の行動が把握できるデータ

◆ どういった私事活動に注目するのか

- ✓ 対象とする私事活動：買い物, 食事, 娯楽

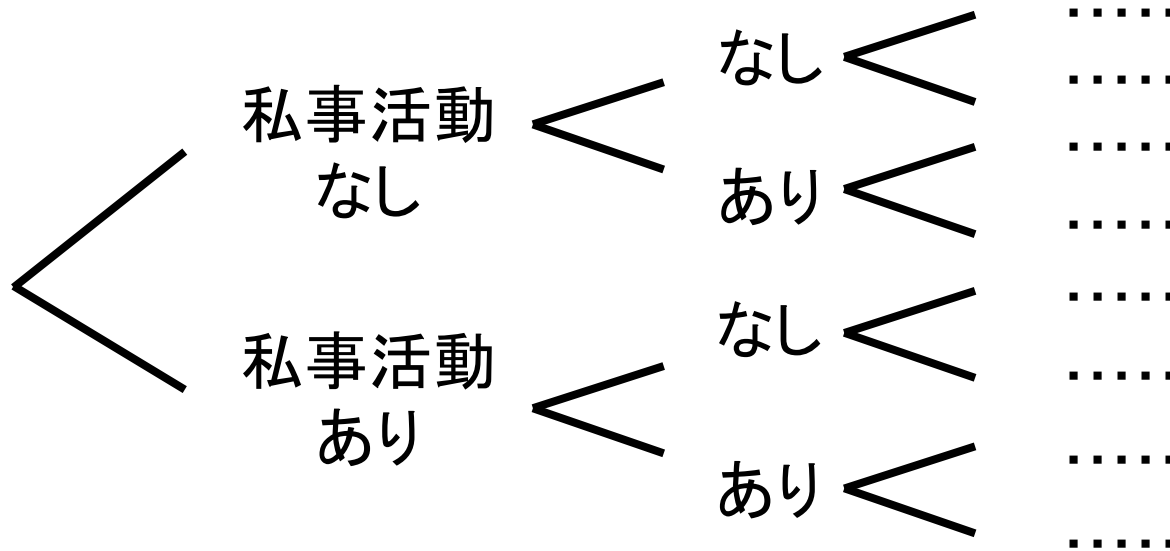


モデルについて

Model

◆二項ロジットモデル

私事活動あり, なしの逐次選択を執行



効用関数 $V_{in} = \beta X_{in} + \varepsilon_{in}$

V_{in} : 個人 n の選択肢 i に対する効用

X_{in} : 個人 n の選択肢 i に対する説明変数

β : パラメーター

ε_{in} : 誤差項



推定結果 *Result*

説明変数		推定値	t値
定数項		0.103	0.091
当日	労働時間(h)	-0.147	-3.807
	私事活動時間(h) * (5時間以上ダミー)	2.349	2.239
1週間	買い物回数累積(回)	-0.301	-3.508
	食事回数累積(回)	-0.307	-3.481
	労働累積時間(h) * (50時間以上ダミー)	1.103	2.094
	労働残り時間(h)	-0.046	-3.347
サンプル数		350	
自由度調整済み尤度比		0.263	

Lc_2

0.250

説明変数に買い物回数累積, 食事回数累積を挿入
⇒現況再現性・政策分析では、私事活動をするかしないか
私事活動の内容を判別できない



推定結果 *Result*

外食行動のみに着目

	推定値	t値
定数項	0.0356	0.11
労働時間	-0.15	-3.166
労働残り時間	-0.033	-2.132
日曜日ダミー	-0.99	-2.209
前回からの日数	-0.242	-2.85
サンプル数	350	

前回の外食からの日数が開くと、外食しにくくなる



現況再現性

時間が足りませんでした(´;ω;`)



プレミアムフライデーの効果

時間が足りませんでした(´;ω;`)



プレミアム00デー

時間が足りませんでした(´;ω;`)